

ホームページ理事長挨拶

大津市民病院は、平成29年4月1日より『地方独立行政法人市立大津市民病院』として、新たな一步を踏み出しました。
今から未来～明るく、元気な「市民とともにある健康・医療拠点」を目指します。

これまでの地方公営企業から地方独立行政法人へと市から独立した経営形態へと変わりますが、市が100%出資して設立された法人であり、市立病院であることに変わりはなく、これからも公的医療機関としての使命と責任を果たしてまいります。

地域医療支援病院として、急性期医療を担う地域の中核病院として、地域に根ざして積み重ねてきた“信頼”をさらに向上させてまいります。

医療環境の変化に迅速かつ柔軟に対応できる地方独立行政法人のメリットを充分に活かし、市民の皆様へ“最適な医療を、最適なときに、最適なかたちで”提供してまいります。私たちは、患者さんの心を中心に置いた「治し支える医療」を推進いたします。

これまで以上に医療の質の向上に努め、経営の質の向上にも努めてまいります。

「医療は人なり、病院は人なり、人は宝」です。「地域になくてはならない病院」として、また「いざというときにこそお役に立てる病院」として、市民の皆様から選ばれる病院であるべく、地域の皆様と双方向的な連携を強化して、職員一同心を一つにさらなる努力を重ねてまいります。

これからも、これまでと変わらぬ暖かいご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。『市民とともにある健康・医療拠点』としての新生『地方独立行政法人市立大津市民病院』に、どうぞご期待下さい。

平成29年4月1日
理事長兼病院長 片岡 慶正